

# 救急医療をめぐる臨床法医中毒学的研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-11-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00067574">https://doi.org/10.24517/00067574</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# 救急医療をめぐる臨床法医中毒学的研究

Research Project

All



## Project/Area Number

63440031

## Research Category

Grant-in-Aid for General Scientific Research (A)

## Allocation Type

Single-year Grants

## Research Field

Legal medicine

## Research Institution

Kanazawa University

## Principal Investigator

永野 耐造 金沢大学, 医学部, 教授 (20073679)

## Co-Investigator(Kenkyū-buntansha)

塗谷 栄治 金沢大学, 医学部付属病院, 助手 (70180693)

大島 徹 金沢大学, 医学部, 助教授 (40183024)

前田 均 大阪市立大学, 医学部, 教授 (20135049)

市村 藤雄 金沢大学, 医学部付属病院, 教授 (40143911)

松原 藤継 金沢大学, 医学部, 教授 (90019894)

相澤 芳樹 金沢大学, 医学部, 助教授 (10019995)

## Project Period (FY)

1988 - 1990

## Project Status

Completed (Fiscal Year 1990)

## Budget Amount \*help

**¥28,900,000 (Direct Cost: ¥28,900,000)**

Fiscal Year 1990: ¥3,500,000 (Direct Cost: ¥3,500,000)

Fiscal Year 1989: ¥5,400,000 (Direct Cost: ¥5,400,000)

Fiscal Year 1988: ¥20,000,000 (Direct Cost: ¥20,000,000)

## Keywords

## Research Abstract

本研究の最終年度として、前年度に引き続き薬毒物分析と薬物動態に関する基礎的研究を継続すると共に、分析結果報告までのシステムのあり方や、薬毒物検査体制について、アンケート調査も含め検討した。

- 1.薬物体内動態の基礎的研究:生理学的薬物速度論モデルにより、ピペリデンの体内分布状態から投与形態、投与後の時間を推定できた。
  - 2.薬毒物のスクリーニング:(1)救急患者試料226名の血液や尿等を検体とし、Pulse heating GC(-MS)法、トキラボ及びTDXシステムやGC-MS等により分析した。その結果、エタノール(0.1mg/ml以上)27例、トルエン3例、クロルプロマジン等の薬物32種が延べ98例から検出され、覚醒剤も3例から検出された。アモバルビタル中毒例などで治療に大きく貢献した。(2)剖検例226体分の血液や尿を試料とし上記と同様の方法で分析した。その結果エタノール(0.1mg/ml以上)121例(47%)、トルエン4例や笑気1例等、及びフェノバルビタル等薬物22種延べ76例から検出された。覚醒剤は13例(5%)で検出された。これら大部分の例では直接死因に結び付く程ではなかったが、生前の状況等を考察するうえで非常に有用であった。
  - 3.分析結果報告:試料到着から結果報告まで1日以内41%(救急例)、1週間以内53%(剖検例)であった。しかし救急例で1週間以上(31%)、剖検例で1ヶ月以上(21%)を要する例もあり、分析方法や人員などの分析体制等も含めなお検討を要する課題と思われた。
  - 4.薬毒物検査体制:本研究に協力頂いた機関及び諸先生方へのアンケート調査から、極めて多くの薬毒物が犯濫する今日の状況では、救急医療や法医中毒学的分析に的確に対応しうる緊急薬毒物分析センターの設置が必要であるという回答が全員から得られ、要望が高まっている。
- 以上の本研究の結果から、各地域における緊急薬毒物分析センターの設置を可及的すみやかに実現すべきであることを提案したい。

## Report (3 results)

1990 Annual Research Report

1989 Annual Research Report

1988 Annual Research Report

## Research Products (16 results)

All Other

All Publications (16 results)

[Publications] T.Nagano,H.Maeda,T.Takayasu,J.Nishigami,T.Ohshima: "Screening and Quantitation of drugs and Poisons in Blood and Urine in Emergency Medical Care and Legal Autopsy Cases" Proc.1st.Int.Symp.Advances Legal Med.(1991) ▼

[Publications] 大島 徹、高安 達典、西上 潤、斉藤 和則、前田 均、永野 耐造: "救急医療をめぐる臨床法医中毒学的研究(第3報) 救急患者及び剖検試料からの犯法的薬毒物の分析" 日法医誌. 45. 39 (1991) ▼

[Publications] 永野 耐造、大島 徹、高安 達典、西上 潤、朱 宝利、前田 均: "救急医療をめぐる臨床法医中毒学的研究(第4報) Pulse heating GC法,GC-MS法及びCOオキシメータによる薬毒物分析" 日法医誌. 45. 197 (1991) ▼

[Publications] 永野 耐造、高安 達典、西上 潤、大島 徹、前田 均: "救急医療をめぐる臨床法医中毒学的研究(第2報) 救急患者及び剖検試料からの薬毒物スクリーニング" 日法医誌. 44. 191 (1990) ▼

[Publications] 永野 耐造、高安 達典、西上 潤、前田 均、大島 徹: "救急患者及び剖検試料からの薬毒物スクリーニング" 中毒研究. 3. 314 (1990) ▼

[Publications] 石崎 純子,横川 引一,中島 恵美,永野 耐造,前田 均,市村 藤雄: "絶食時のラットを用いたピペリデンの体内動態変動要因の解析" 病院薬学. ▼

[Publications] 永野耐造、高安達典、前田均、西上潤、田中宣幸、笠井謙多郎: "救急医療をめぐる臨床法医中毒学的研究(第1報)各種薬物急性中毒スクリーニングの基礎的研究" 日法医誌. 43. 111 (1989) ▼

[Publications] K.Yokogawa,E.Nakashima,J.Ishizaki,H.Maeda,T.Nagano,F.Ichimura: "Relationships in the Structure-Tissue Distribution of Basic Drugs in the Rabbit." Pharmaceutical Research. 1990. (1990) ▼

[Publications] 西上潤、高安達典、前田均、永野耐造: "薬毒物中毒に関する法医中毒学的スクリーニング1.トキシ・ラボへ< [O!R] >によるスクリーニング" 日法医誌. 44. (1990) ▼

[Publications] 高安達典、西上潤、前田均、永野耐造: "薬毒物中毒に関する法医中毒学的スクリーニング2.Pulse heating(Pr)-GCとGC-MSによる分析" 日法医誌. 44. (1990) ▼

[Publications] 永野耐造、高安達典、西上潤、大島徹、前田均: "救急医療をめぐる臨床法医中毒学的研究(第2報)救急患者および剖検資料からの薬毒物のスクリーニング" 日法医誌. 44. (1990) ▼

[Publications] 中島恵美、横川弘一、石崎純子、市村藤雄、前田均、永野耐造: "家兔における塩基性薬物体内分布の生理学的薬物速度論による解析" 日本薬学会年会講演要旨集. 110. (1990) ▼

[Publications] 福井宏有,高安達典,永野耐造: 日法医誌. 43. (1989) ▼

[Publications] 永野耐造,高安達典,前田均,西上潤,田中宣幸,笠井謙多郎: 日法医誌. 43. (1989) ▼

[Publications] 福井宏有,高安達典,前田均,永野耐造: 日法医誌. 43. (1989) ▼

[Publications] Nagano,T.;Takayasu,T.;Maeda,H.: Zentralblatt Rechtsmedizin. 31. 893 (1988) ▼

URL:

Published: 1988-03-31 Modified: 2016-04-21